

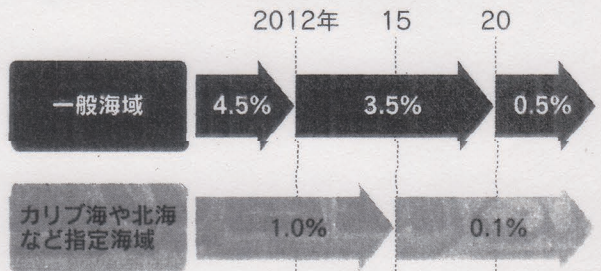
地方都市を船で結ぶ海運会社が、国際的な船舶燃料の環境規制に苦慮している。規制は2020年から強化される。クリアするには燃料を切り替えたり、船舶に排ガス浄化装置を付けたりとといった対策が必要だ。中堅・中小の海運会社にとって負担は重く、物流コストや運賃に跳ね返る可能性が出てきた。

名古屋―仙台―苫小牧の往復約2600キロに必要な燃料は、ドラム缶1000本(200キロ)分。この航路は名古屋鉄道グループの太平洋フェリー(名古屋市)が担う大動脈だ。大型船3隻で旅客や貨物、自動車などを運ぶ。18年の燃料価格は、業界平均で1キロあたり5万5千円程度。往復で約1000万円かかる計算だ。

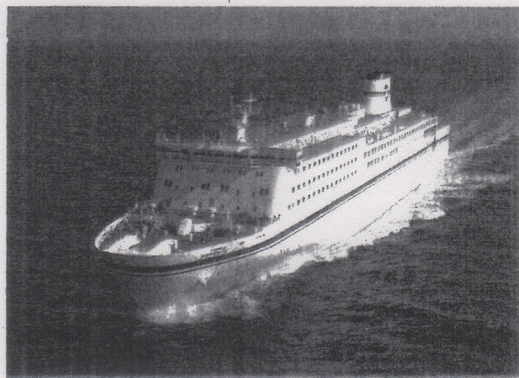
現在は高硫黄重油を燃料にしているが、大気汚染の原因となる硫黄酸化物(SOx)の排出は世界的な課題。国際海事機関(IMO)は20年1月から、燃料に含まれる硫

海運、環境規制に苦慮

船舶燃料の国際的な環境規制は強まっている



(出所)国土交通省資料より



2020年からの新燃料規制に海運業界は身構える(太平洋フェリーの「いしかり」)

20年、燃料の硫黄分下げ義務付け

黄分の上限を3.5%から0.5%に下げる規制を海運会社に課す。現在運航している船すべてで、今のままでは従来型の重油は使えなくなる。海運会社が規制に対応するには①燃料を硫黄分の低い重油に変える②硫黄分を含まない液化天然ガス(LNG)を使う③従来の重油を使い続けるが船に排ガス浄化装置を取り付ける―といった

黄分の上限を3.5%から0.5%に下げる規制を海運会社に課す。現在運航している船すべてで、今のままでは従来型の重油は使えなくなる。海運会社が規制に対応するには①燃料を硫黄分の低い重油に変える②硫黄分を含まない液化天然ガス(LNG)を使う③従来の重油を使い続けるが船に排ガス浄化装置を取り付ける―といった

対策が必要になる。太平洋フェリーは低硫黄燃料を得ないかもしれないと話す。大手でも新日鉄住金グループのNSユナイテッドタンカー(東京・千代田)、川崎汽船傘下の川崎近海汽船が19年10月から順次、国内で運航する船は低硫黄燃料にする方針だ。

燃料の調達への不安もくすぶる。大手の海運会社は世界各地を航海して寄港先のシンガポールな

運賃に転嫁も 排ガス浄化装置など対策

どで安価な燃料を安定調達できるのに対し、地方の海運会社は国内の航路中心で事業規模も限られる。「経験が乏しいだけに緊迫感がある」(日本内航海運組合総連合会の見上博審議役)

愛知海運(名古屋市)が国内で運航するのは4隻。国内ロジスティクスカンパニーの吉岡州大氏は「石油元売りが10月から新燃料の販売を始めても、20年までに全国の港で供給体制が整うかわからない」と話す。

排ガス浄化装置を付けるにしても数億円のコストがかかり、LNGを燃料にする場合は新しいエンジンに載せ替える必要がある。手持ちの船に対応するのは難しい。

国土交通省によると、船は重量と輸送距離を掛け合わせたトキペースで国内輸送の4割を占める。「海運業界の浮沈をかけた一大転換」(商船三井の池田潤一郎社長)に向け海運、造船、石油各社などの対応が求められている。(藤岡昂)

中部日本自動車学校 災害時に敷地提供 支援助物資 受け渡し用など

トヨタ名古屋教育センター(名古屋市)は大地震などの災害が起きた際の支援協力の覚書を結んだ。運営する中部日本自動車学校は約5万平方メートルの敷地面積があり、災害時に支援助物資の受け渡しに使ってもらうほか、避難用の駐車場などとして提供する。

名古屋市昭和区の滝川学区と協定を結んだ。同学区の人口は約1万7000人で、同社の本社がある。災害時には電気な

保温・吸水性高い 肌着ネット販売

女性下着製造の渡辺商店(名古屋市)はインターネット通販サイトなどで保温性や吸水性が高い肌着の販売を始めた。タオルの材料になる燃糸(ねんし)加工を手掛ける浅野燃糸(岐阜県安八町)が開発した特殊技術

で作られた糸を使用し、肌着はタンクトップや半袖、長袖などがあり、5000〜5500円で販売する。

繊維の間に空気を多く含む構造を持つ糸を使うことで、体温を逃さず保温効果が得られる。吸水性も一般のタオルに比べて高く、汗ばむ気候でも快適に過ごせるという。

中部

名古屋 052-243-3321
 津 059-2228-3365
 岐阜 058-2262-4847

いう。今回の執行役員待

販売を愛知県で始めた(愛知県安城市)